



萩市復興だより

発行・編集
萩市災害復興局
TEL 08387-6-2214

〈第3号〉
平成26年7月号

～ 元気になあれ ひまわりのように ニコニコと ～

7月28日萩市東部集中豪雨災害から1年。

各地域では夏まつりなどが予定され、昨年の豪雨災害以降、とまってしまった時を取り戻そうと復興への機運も高まっています。復興へ向け歩み進む、萩市東部の今を紹介します。

国道191号の復旧見込みについて

6月27日（金）国土交通省の主催により須佐漁村センターで、豪雨災害に伴う国道191号の整備等について説明会が開催されました。

関係住民の皆さんの出席のもと、はじめに国道191号(中津橋区間)の自転車歩行者道の整備と中津橋の架け替え工事に伴う迂回路の計画について説明が行われました。

また、現在、片側交互通行となっている須佐トンネル北口（須佐方面）の復旧工事は、今年の8月中旬に工事を終える予定とし、その後、須佐トンネル西口（須佐・押谷）の国道と長谷川が交差する箇所について、今秋の完工を目指して本格工事を開始するとの説明が行われました。

国道191号 須佐トンネル北口の状況▶
(H26. 6. 30 現在)



災害復旧工事の発注状況について

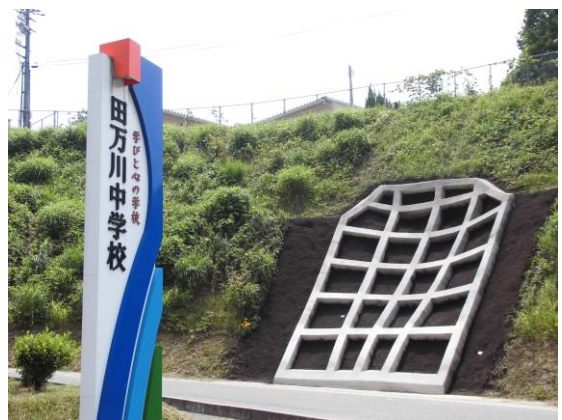
市の管理する河川や道路及び農地・農業用施設など国・県の補助事業となる災害復旧工事については、ほぼ発注を終え、工事着手や材料手配など着手の準備段階となっています。残すは、広域河川改修工事に関連する橋りょうなどの発注となっています。発注状況は次のとおりです。

■土木・農地等災害復旧工事（補助事業）

区分	全体件数	発注済数	発注率
公共土木施設	270件	267件	98.9%
農地・農業用施設	475件	454件	95.6%
林業施設	18件	18件	100.0%
治山事業	28件	24件	85.7%

※件数は災害査定の箇所数

(H26. 7. 11 見込み)



法面復旧工事（田万川中学校入口）

復興へ向け 各地で田植え進む

萩市東部地域の田植えは6月下旬に概ね終了しました。豪雨災害により田植えが困難な場所や条件が整わない箇所などありますが、農家のみなさんの意欲と工夫で土砂の取り除きや畦畔の復旧をされ、田植えが行われた箇所が多数あります。萩市では稲の作付けを促進するため、被災後から緊急的な対策として、農業用水を確保するために必要な揚水ポンプの借上げ・購入に対する補助制度や農地及び農道・水路などへ流入した土砂を取り除く経費に対する補助制度を市独自で設け支援しています。



補助金を使った自力復旧

補助事業による農地・農業用施設の復旧工事はこれから本格的に始まりますが、平成27年3月には県河川にかかるものを除き、概ねの復旧工事が完了できるよう進めています。



補助制度を活用し復旧した畦畔

※補助制度に関する問合せ先 萩市産業再生事業部 TEL 08387-6-2217

「減災のすすめ」-地域の力で命と暮らしを守る-

「次に雨が降ったら…。どこに、どうやって避難しよう？」など不安を抱えていらっしゃる方が大勢いらっしゃいます。

昨年の災害をもとに地域住民の皆さんが意見を出し合い地域の点検をし、支援の必要な人たちが災害に対して身を守っていくための仕組みづくりを地域で考えてみませんか。身近な地域での災害対応等についてお考えの方は下記までご相談ください。

※問合せ先

萩市生活応援センター(萩市災害復興局内)

TEL 080-6302-4808



むつみ総合事務所の懸垂幕(標語)

災害復興祈念スローガンについて

昨年12月に募集した復興標語から「災害復興祈念スローガン」として決定した6作品のひとつをご紹介します。

現在、むつみ総合事務所や高俣支所前へ掲示しています。

《教育長賞》

“元気になる あれ ひまわりのように ニコニコと”

むつみ小学校5年 相 愛央さん 作品

(学年等は、平成25年12月現在)

各地域で防災避難訓練を実施

6月22日（日）むつみ、田万川、及び須佐地域で防災避難訓練が行われました。この訓練は、昨年7月28日の豪雨災害を教訓として、災害発生のおそれがあるときに迅速で安全な避難行動をとることができるようにすることを目的とするもので、防災行政無線による確実な情報伝達や消防団の避難誘導などの訓練を行い、総勢426名の参加となりました。

午後からは、萩市役所で災害発生時の対応訓練として、豪雨災害を想定した災害図上訓練が市職員や萩警察署員など114名の参加により実施されました。



避難所に参集の訓練参加者（須佐公民館）



災害図上訓練の様子（東部地域の各現地対策本部）

「地域生活サポーター」へ委嘱状交付

7月1日（火）地域生活サポーターの委嘱状交付式が田万川総合事務所で行われました。これは住民自らが地域課題に応じた取り組みについて、被災地の復興とあわせ効果的に展開できるよう田万川地域をモデル地区に選定し「地域生活サポーター」を設置したものです。

災害時の共助を振り返り、住民自らの話し合いや考える場の創出、高齢化で困難となった共助や地域づくり活動の支援など、その仕組みづくりの検討と再構築が期待されます。

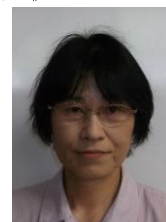


委嘱状交付式（田万川総合事務所）

《地域生活サポーター》



原 宏子さん
（江崎地区：本町）



水津 光恵さん
（小川地区：2区）



サポーター業務の打合せ ▶

《お知らせ》

■災害復興祈念「和泉元彌・狂言公演」の開催について

豪雨災害からの復興を祈念して、狂言師・和泉元彌さん（萩ふるさと大使）の狂言公演が行われます。

日 時：平成26年7月26日（土）午後1時～午後3時

場 所：田万川コミュニティセンター

演 目：狂言語「吉田松陰語」ほか

◆入場料は無料：整理券の配布があります。詳しくは、市報「萩」7月1日号をご覧ください。

※問合せ先 田万川ふるさとづくり協議会（萩市田万川総合事務所内） TEL 08387-2-0300

■「7月28日 萩市民防災の日」防災講演会の開催について

萩市民防災の日啓発行事を、下記のとおり開催します。

日 時：平成26年7月28日（月）午後1時～午後3時

場 所：田万川コミュニティセンター

内 容：下関地方气象台講演会、ボランティアセンター活動事例の発表など

◆入場は自由、参加費無料です。多数のご参加をお待ちしています。

※問合せ先 萩市防災安全課 TEL 0838-25-3808

「災害から学ぶ」研修会を開催

6月13日（金）田万川コミュニティセンターで、「災害から学ぶ」研修会が萩市社会福祉協議会の主催で開催されました。この研修会は、地域を再点検し防災意識を高め、地域で支えあう仕組みづくりを考えることを目的として開催されたものです。

事例発表では、豪雨災害での江崎婦人会の活動や小川地区の被災された方の体験から、人と人とのつながりの大切さなどが報告され、講演会では平常時の対応「私にやさしいまちをつくるには!？」と題した講演が行われました。約130名の参加者は、去年の体験から皆さん真剣な眼差しで臨まれていました。



田万川地域の事例発表



研修会参加者の様子

発行：萩市災害復興局
TEL 08387-6-2214 FAX 08387-6-2218

生活再建支援事業部 TEL 08387-6-2213
都市基盤復興事業部 TEL 08387-6-2215
産業再生事業部 TEL 08387-6-2217